

櫻守の会

2020年12月号

2020年12月1日(通巻259号)
発行: 櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 113名(11月25日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

桜奮闘記

田村 興作

お話もあり、桜育て記を桜奮闘記として書くこととします。私が住む最明寺川沿い(宝塚市の山本付近を流れる)には、同じお住まい(マンション)の方が、相当以前に行政からの支援で植えられたソメイヨシノがありました。これが立派に育ち、毎年見事に花を咲かせ、殺風景な川沿いの風景を豊かにしていました。震災後マンションの再建も無事終わり、間もなく還暦を迎える年となり、何か記念にしたいと考え、桜を植えることとしました。知り合いからの苗木の世話により、市原虎の尾(京都市原の有名種)を選びました。説明には、全体が咲くと虎の尾のように見えるほど美しいとあります。早速'01年の春に虎の尾を、続けてソメイヨシノ2本と八重桜1本も植えました。それからが大変です。雑草と笹との戦いです。夏場は毎日のように水やりがいきます。手を抜くとすぐに枯れそうになります。

10年近く経ってようやく咲き始めました。虎の尾は伸びた枝にそれはふわふわした虎の尾かと思われる美しい花を咲かせました。そのうち虎の尾の根元におがくずのような粉が散らばっているのが見られるようになり、よく見ると根本近くに小指が入るほどの穴が3~4か所開けられ、さらに樹皮あたりに寒天状のヌルヌルしたヤニが吹き出しました。色々聞き調べる中で穴はカミキリムシの仕業であり、寒天状のヤニはコスカシバによるものとわかってきました。この両者により樹勢は弱っていきました。色々の薬剤を使いましたが、虎の尾は枯れ、ソメイヨシノも1本は枯れました。残る1本も瀕死の状態でしたが、その後少しずつ元気を取り戻し、今では大きく成長し、立派に花を咲かせています。

ところが'15年頃、川沿いの高木をすべて切るという話が持ち上がってきました。河川敷の個人的な菜園としての利用や柿の木を植えるといったことがあり、行政側にクレームが出されていました。高木を切るという話の中に、桜も含まれていました。川のJRから川西市までの約1km区間は、県から「フォーエバーエコ最明寺川」の名前のもとに、ひょうごアドプト活動の場として認知されています。当会の代表(今は故人)に相談し、県へ桜の保存の要請をお願いしました。当時、知事が桜の並木を瀬戸内海から日本海までつなげたいとの意向を持っておられことを聞き及んでのことです。これが功を奏したのでしょうか、幸いにも桜は切り倒されずにすみました。

桜も植えてから約20年、立派に成長し、同時期に植えられた桜、以前からの桜、合わせて3本が、川沿いに毎年美しく花を咲かせます。この川の両岸はウォーキング、犬をつれての散歩・語らいのみちとして利用されています。桜の咲く季節ともなれば、川沿いの桜をみて楽しむ人々の姿が見受けられます。



最明寺川の堤防に咲いた市原虎の尾

***** 目次 *****

- P1 序文: 桜奮闘記 & 目次
- P2 2020年11月度活動実績表
- P2~4 活動報告: 桜の園(亦楽山荘)、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、環境学習
- P4~5 お知らせ・案内: 運営委員会報告、チェーンソー講習会、会員消息、武庫川エコハイク
- P6~8 櫻守ひろば : 「笹部新太郎氏と亦楽山荘」、新人研修会、会員紹介、会員からの投稿
- P8 活動予定(12月・1月)

＜ 2020年11月度 活動実績表 ＞

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
10月24日 (土)	桜の園 (亦楽山荘) 27名	晴れ	(林間広場)広場の整備ベンチの搬送設置 搬送は全員協力	12
			(桜坂・エントランス広場上堰堤内)園路周辺草刈り・植栽モミジ等周辺整備	5
			新人研修会(大峰道)座学及び伐採実習	10
10月28日 (水)	青葉台 17名	晴れ 時々 曇り	(光が丘ルート)入口付近園路/支多々川間で笹、アオキ萌芽の伐採	7
			(光が丘ルート)中間部のシダ群落を刈り取り	4
			(行者山登山路)青葉台口/小林堰堤間の笹、ススキ等の刈り取り	6
11月1日 (日)	武庫山の森 28名	曇り	(武庫山ルート東側道沿い)フェンス沿いの草刈り、フェンスのツル除去	10
			(育苗地から北谷堰堤下流)刈払機での草刈り	6
			(北側道路沿い)フェンス沿いの草刈り、フェンスのツル除去、植樹地の草刈り	12
11月3日 (火)	ゆずり葉の森 20名 (1)	晴れ	(白瀬川広場周辺)わんぱく原っぱ～南斜面間の草刈りと樹木剪定	7
			(モチツツジの谷)ショートカットコース、行者山登山路周辺の整備と階段整備	7
			(コバノミツバツツジの丘)環境体験学習支援・椎茸植菌用ホダギ準備	6
11月5日 (木)	桜の園 (亦楽山荘) 21名	晴れ	(林間広場)広場ベンチの搬送設置 搬送は全員協力	11
			(滝見の道・エントランス広場上堰堤内)路肩補強・植栽モミジ等周辺整備	9
			(親水広場)広場、階段の清掃	1
11月6日 (金)	中山桜台小 17名	晴れ	中山桜台小秋の環境学習(学校林) 児童74名、先生4名 ①森のクイズ ②ノコギリ体験&ワッペン作り ③急坂登り ④木の成長&年輪	17
11月13日 (金)	桜の園 (亦楽山荘) 22名	曇り	(林間広場)環境学習準備、鋸体験用材伐採	3
			(滝見の道)ジャカゴ設置して園路補強	7
			(桜坂上部)山側土留めフェンス改修(2列)	6
			(城ヶ丘～隔水亭～東屋)階段補修、園路清掃	4
			(親水広場)階段等清掃	2
11月17日 (火)	山手台 27名	晴れ	(ご神木広場周辺)常緑低木・ササ伐採、ベンチ設置	8
			(中川大橋手前斜面)枯れ松伐採、道路際のササ刈り	9
			(アジサイロード)道路脇のヤマモモ間伐、学校側斜面の常緑灌木とシダの伐採	10
11月21日 (土)	武庫山の森 29名	曇り	(宝松苑ルート)プラ階段の設置、常緑樹の除伐	6
			(中央ルート)ササとシダの除伐	12
			(連絡道)崩れた園路の補修	5
			(育苗地)ヤマザクラの植え付け、ササの除伐	6
延べ参加者数				208

＜ 活動報告 ＞

桜の園(亦楽山荘)

環境学習用ベンチ5台分のパーツを全員で林間広場へ運びあげ、現地で組立・設置と周辺の園路・斜面の整備も併せて行った。別班は秋の紅葉シーズンに備え桜坂の園路周辺の草刈りともみじの道入り口の堰堤内の草刈りを行った。また、新人研修会が大峰道・林間広場手前で実施された。(10/24)

今回も環境学習用ベンチパーツを搬入し、組立・設置を行った。搬入は苦労したが、組立ては“でえくさ

んず”の助っ人もあり順調に仕上がり、付近園路と広場の整備が完了した。別班は前回に続きもみじの道入り口の堰堤内を除草した。また、午後から瀧見の道ビューポイントの路肩を丸太材で補修し、帰路、さくらの道排水路の清掃や階段補修を行った。(11/5)

瀧見の道ビューポイントの継続作業はジャコゴ 5 セットの設置とアオキの伐採等を行った。また桜坂上部の腐食の進んだ土留め柵 2 列を更新して強度、見栄えを良くした。行楽シーズンに備え隔水亭側のどんぐりの道の階段補修と清掃を行った。(11/13) (吉田 記)



林間広場ベンチ設置 (11/5)



桜坂土留め改修 (11/13)

青葉台

10 月末となり気温はさほど上がらなかったが、作業中には一汗をかきながらの作業となりました。青葉台口からの行者山登山路周辺と光が丘ルート入口周辺と中間部に分かれて、笹やシダ等の刈り取りとアオキ等の低灌木の除伐を行った。その結果広い範囲で林床への光到達量 up と景観改善ができました。(加賀野)



10/28 行者山登山路両脇の草刈



10/28 光が丘ルート入口付近で除伐



10/28 光が丘ルート中間部シダ刈り

ゆずり葉の森

暑からず寒からず絶好の作業日和となりました。白瀬川広場周辺とモチツツジの谷からイチヤクソウの丘へ続く園路周辺で笹や雑草の刈り取り、低灌木の除伐等を行いました。またコバノミツバツツジの丘では来年 2 月に行われる予定である逆瀬台と美座の 2 小学校での環境学習“椎茸菌植菌体験”用として、コナラを伐採、1 m に玉切りしたズッシリと重いホダギ約 40 本を大汗をかいて西山堰堤路まで担ぎ下ろし、水分を飛ばすため井桁状に積み重ねブルーシートで覆い暫時保管しました。(加賀野 記)



11/3 重いホダギを担ぎ下ろし
井桁状に積み重ね



11/3 イチヤクソウの丘からの
下り坂で階段の整備



11/3 立体駐車場駐との間の
斜面で笹刈り

山手台

活動地では、南斜面の桜の紅葉、エノキの黄葉、集合広場のケヤキの紅葉が見頃です。作業は、ご神木広場北側斜面、中川大橋手前斜面、アジサイロード周辺での伐採が主でしたが、他には新たに作成したベンチ 3 台を設置しました。内 1 台は、ご神木広場で座ってご神木のカスミザクラを見上げることができるよう設置しました。(岡 記)



ご神木広場に設置のベンチ

武庫山の森

時折晴れ間のある曇り空で風もなく比較的暖かい天気、作業をするにはちょうど良い気温でした。今回はシーズン最後の大掛かりな草刈りを全班挙げて行いました。特に道沿いの草刈りを重点的に行き、北東側と北側のフェンス沿いの草やツルを丁寧に除去することでスッキリさせました。育苗地の草も取り除き、育苗地からビオトープを経て北谷堰堤下流の草も刈払機で刈りました(11/1)。

前日までの季節外れの暖かさから一変して北風が吹く中での作業でした。宝松苑ルートにプラ階段を 22 段設置しました。あと少しで終了です。ここ数年中央ルート沿いのササが増えてきており、園路から離れた場所も含めて除伐しました。連絡道の崩れた園路を補修しました。急斜面で岩も多く難工事になりました。会員が武庫山で集めた種から育てたヤマザクラの苗 20 本を育苗地に植え付けました。(11/21)。(横山 記)



北側のフェンス沿い草刈り



育苗地でのヤマザクラ植え付け

中山桜台小学校 環境学習支援

中山桜台小学校では毎年春と秋に二回行っていたが、今年は感染症の影響を受け秋のみの学習になった。毎年行っていた班の樹の測定は一回では不可能な為学習内容を考え直した結果、①森のクイズ②ノコギリ体験とワッペン作り③急坂登りと"ヤッホー"④樹の種類・年輪の話と盛り沢山になった。1 組、2 組、3 組それぞれ 1.5 時間で昼休みをはさんで行った。今回は櫻守会員 17 名の参加が有り、早朝から協力体制充分でスムーズに行えた。課題は残るが次回の学習につなげていければと考えている。(大形 記)



森のクイズを楽しむ



ロープを使って急坂登り

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (10 月度)

2020 年 10 月 30 日 (金) 10:00~11:30 ぷらざこむ 1

代表 近藤 茂

1. 新型コロナウイルス対応

- ・里山整備活動：11 月度の活動は計画通り実施する。
- ・年末年始の安全祈願後の直会：昨年までは全活動地にて実施していたが、密になった状態での飲食は

感染の危険性があるため、本年度は 2020 年最後の活動日（12 月 26 日・桜の園）と 2021 年最初の活動日（1 月 7 日・桜の園）に御神酒のお下がりをおいただくのみとする。

2. 新人研修会実施報告・・・10 月 24 日に昨年の研修会以後に入会した 8 名に対して研修会を実施した。受講者の受講録を「櫻守ひろば」に掲載しているのでご覧ください。
3. 環境学習支援準備状況
 - ・秋の実施日・・・中山桜台小 11 月 6 日（学校林）、逆瀬台小 11 月 26 日（桜の園）、美座小（中止）
 - ・充実した内容の環境学習にするためカリキュラムの見直し・・・分科会を作って、検討を進めている。
 - ・桜の園・林間広場の整備・・・現状の伐採木を利用したベンチは腐食が進んでいるので、宝塚市の協力を頂いて、耐食性の優れた木製ベンチに 2 年計画で更新することにした。今年は半数の 10 台を設置。
4. チェーンソー講習会・・・当会主催の講習会を 2021 年 3 月 27 日に外部講師を招いて開催することにした。詳細はこの下のお知らせをご覧ください。
5. 宝塚市主催「たからづか市民環境フォーラム」が、今年は 12 月 5 日（土）にリモート形式で開催されることになった。メール会員には会報 11 月号を配信する時に、フォーラムへの参加を依頼した。

チェーンソー講習会の受講者を募集します

運営委員会

当会の様な林業を職業としていない団体では、チェーンソーの取り扱い資格は「教育の有資格者による内部講習会での認定」で取得できることになってはいますが、会員の中に教育できる人がいなかったため、これまではコベルコ教習所へ行って資格を取得していただいていた。ところが昨年度の法令改正で教習所での講習日数が従来の 2 日間から 4 日間に延びた事、およびコベルコ教習所での講習は座学が中心で実技を殆ど学ばなかったことより、下記の要領で当会主催の「チェーンソー講習会」を開催することにしました。

日時：2021 年 3 月 27 日（土） 10:00～15:00 （少雨決行）

場所：ゆずり葉の森

講師：愛林興業（株）（姫路市の林業工具関係の会社）より派遣していただきます

講習内容：座学+実技（伐木、枝打ち、玉切り、目立て、メンテ）実技を重点においた講習会で募集受講者数：10 名

上述の様に実技に重点を置いた講習会ですので、既に資格を有している方もプロの方から取り扱いの基本を教えてもらうことで、有意義な講習会になることが期待できます。

既に資格を有している方、或いは新たに資格を取得したい方、どなたでも結構ですので受講を希望される方は運営委員までご連絡ください。希望者多数の場合は、運営委員会で調整させていただきます。

会員消息

事務局

入会 中西 雄之佑さん これからもよろしくお願ひします。

武庫川エコハイク 第 163 回「草野柏野山・海見山撰丹国境を歩く」 エコグループ・武庫川

今回は武庫川上流、油井から草野地区を歩きます。丹波篠山市の南端撰丹国境地帯の海見山を登ります。

★お願い：マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願ひます

日 時：2020 年 12 月 12 日（土） 雨天中止

集 合：JR 福知山線「草野駅」駅前広場 9 時

（参考：JR 快速篠山口行・尼崎 8:01・・・宝塚 8:20・・・草野 8:53 着）

ルート：草野駅前～古森～林道～登山口～地蔵峠(430)～海見山(519)～地蔵峠～水路分岐(490)～

うら山池(500)～柏野山(573)～古森山(550)～地蔵峠～古森旬の市販売所～JR 草野駅

◆約 10 km （標高差 400m・健脚向き） 解散：16 時頃 JR 草野駅

お問合せ：携帯 090-7763-6763（上田）

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>

＜ 櫻守ひろば ＞

笹部新太郎氏と亦楽山荘（6） 笹部氏の業績（1933～45）（46～58歳） 本格活動期 近藤 茂

笹部氏＝ヤマザクラのイメージが強いが、笹部氏は亦楽山荘に非常に多くの里桜（園芸品種）も育てている。幼木の移植・種子からの育成・接ぎ木とあらゆる方法で桜を育てており、「亦楽山荘に3,000～5,000本の桜があった」と言う話は本当にそうであったようだ。

昭和9年から終戦までの間が、笹部氏が桜の植樹に活躍した時期である。昭和9年に向日町に3,000坪の桜苗圃を得て、大量の苗を育てて、亦楽山荘から選んだ苗と共に全国各地で植樹を行った。記録に残る里桜の植樹は、大阪造幣局に22本、奈良公園の三社の森に50余種類、竜安寺などがあるが、多くはヤマザクラを植樹した。また戦争が激しくなった昭和17年から終戦までの間は桜の植樹の依頼が減ったと思われる。

笹部氏は下表の如く日本全国各地で大規模な桜の植樹を行ったが、費用を受け取らずに殆どすべて自費で行ったらしい。このように多くの桜を植樹したが、桜は育てるのが難しいためか、或いは戦争と言う時代が悪かったためか、「笹部氏が植えた桜が今現在も残っている」との話が聞こえてこないのが残念である。

この頃笹部氏は、植樹活動のみならず講演会活動も積極的に行っており、「国は桜の保存活動をしていない！」と当時の状況を憂いている。



昭和8年頃より数年間 毎年秋に大阪倶楽部の有志を「亦楽山荘の城が丘」に招いた

1934年(昭9)	47歳	京都 向日町に3,000坪の土地購入し、「桜苗圃」を造園
1935年(昭10)	48歳	根来寺の桜の手入れを指導
1936年(昭11)	49歳	大阪造幣局に里桜22本を植樹、「通り抜け」の管理指導をする
1937年(昭12)	50歳	近江舞子の江若鉄道の山1万坪に、山桜500本を植樹
		奈良県の談山神社、多武峰などに山桜を植樹
		奈良公園の三社の森に里桜50余種類を植樹
		吉野山の樹勢回復措置を実施 山全体の調和を取るため、桜以外の木も植樹
1938年(昭13)	51歳	東京さくらの会「明桜巨桜の保存についての批判」講演を行った
		大阪学士会で「桜に送る弔辞」の題名で現状批判の講演を行った
		高槻の金龍寺境内に山桜を植樹
1941年(昭16)	54歳	奈良県の依頼で橿原街道沿い15Kmに山桜を植樹
		大阪電気軌道(現 近鉄)の信貴山線沿いに6万坪の桜苗圃を作った ※しかしながら、戦争の激化で完成を見ずに閉鎖された
1944年(昭19)	57歳	戦争で「通り抜け」が中止されたため「桜の会」を大阪造幣局で開催、所蔵品を出品
1945年(昭20)	58歳	造幣局広島五日市支局へ山桜3,500本を送って植樹

新人研修会 (10/24) に参加して

辻本 孝

今回は桜の園 (亦楽山荘) の林間広場近くの大峰道周辺で、2019年10月以降入会者と前回都合で参加出来なかった方合計13名中、8名が参加しました。研修は安全で効率の良い作業ができるように、実地作業を通じて技術の向上と里山整備活動の目的などの正しい知識習得を目的として、講師濱野さんと補助加賀野さんで実施されました。先ず座学では服装、道具類、木を切る目的等の確認を、安全な作業の実習では2本の木の伐採を受講者が交替で行いました。

受講した中では私個人としては以下の2点が心に残りました。一点目は伐倒時の退避範囲が『木の高さの2倍』と教わりましたが、実際木が倒れてみると下から目測で思っていた木の高さとは大きく違ったことです。また上部の枝の張り方をよく把握できる観察力の大切さがよく分かりました。二点目は『追い口切りは受け口の高さの2/3の位置を水平に』と教わり、実際には注意して切り込んでも受け口と平行でないことに気付かませんでした。目の前では分からなくとも一歩距離を取って目線をかえると、正確な状況が理解出来ました。各人それぞれ体験参加時に説明を受けていますが、今一度基本の基本を勉強する機会を設けて頂き有難うございました。この研修で学んだことを今後の作業に生かし、櫻守の会の一員として活動できるように努めます。



伐倒した木の切り口と倒れた方向を確認する

会員紹介

市原 直さん

6月に入会した市原直(いちはらただし)です。1952年生まれで生まれ育ちは湘南で、就職とともに神戸に移住し、結婚して以来約40年間宝塚に住んでいます。会員の皆様には登山が趣味の方が多くいらっしゃるようですが、私は富士山を除いては1000m以上の山に登ったことはなく、低山歩きと平地歩きが大好きです。若い頃は自転車で宝塚市北域、阪神地区や京都、大阪、滋賀を走りましたが、10年前に会社勤めを終えてからはもっぱら京阪神奈良の寺社仏閣、古墳、史跡、旧街道を歩き回っています。

植栽いじりでは毎年夏に素人流で庭の雑草と戦っていて、嫌いではありません。似たような作業で人の役に立つことはできないかと兵庫県南東部の森林ボランティア活動を探して、この櫻守の会を知り入会した次第です。自宅が宝梅にあり、六甲山系の東端をよく歩いて馴染みがあることから、ゆずり葉・青葉台の活動を中心に参加しています。樹木の識別は自宅付近にあるもの以外はまだできませんが、徐々に覚えたいと思っています。月に1~2回のマイペースで緩い参加ですが、これからも長く続けたいと思っています。皆様よろしくお願ひいたします。



情報掲示板

チェーンソー操作技術の自己訓練用テキスト (林野庁)

林業者向け資料ですが、チェーンソーを使用されている皆さんは参考にしてください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/anzen/nii.html>

左記 URL をクリックしてご覧ください。

— 会員からの投稿 —

「桜坂のしんちゃん」 さようなら！ さくら 守太郎

桜の園の「桜坂のしんちゃん」が誕生したのは2010年2月。元会員の脇塚氏が枯れた桜の幹をチェーンソーを使って作成したリス君であり、いつも凜とした佇まいで桜坂の最上段からヤマザクラを見下ろしていた。

雨風に耐えて頑張ってきたが、ついに2015年6月には腐食で頭に穴が空いてしまったので、「櫻守」のヘルメットを被せてもらった。

その後も頑張ってきたが腐食は全身に及んで、遂に2020年11月に引退してもらうことになった。ヘルメットを脱いで横に移動してもらおうとチョット触ったら、なんと姿が全く残らずに粉々になってしまった。「桜の木は強い」と思っていたが、この様になるとは全くの予想外であった。しんちゃん、ありがとう！ さようなら！



2015年6月 ヘルメットを被る



2020年11月 粉々になってしまった

< 活動予定 (12月・1月) >

月別行事予定表

12月		場所等	1月		場所等
12月4日	金	桜の園 (亦楽山荘)	1月7日	木	桜の園 (亦楽山荘)
12月6日	日	武庫山の森	1月13日	水	ゆずり葉の森
12月8日	火	ゆずり葉の森	1月16日	土	武庫山の森
12月10日	木	桜の園 (亦楽山荘)	1月19日	火	山手台
12月15日	火	山手台	1月23日	土	桜の園 (亦楽山荘)
12月19日	土	武庫山の森	1月27日	水	桜の園 (亦楽山荘)
12月23日	水	青葉台	1月29日	金	青葉台
12月25日	金	会報印刷 (ぷらざこむ)	1月30日	土	会報印刷 (ぷらざこむ)
12月26日	土	桜の園 (亦楽山荘)			

集合時間 : 桜の園 (亦楽山荘) 親水広場9時50分、武庫山の森9時50分、他の3活動地は9時30分。
 天候 : 当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

<編集後記> 人の交流が盛んになるにつれてコロナ感染が再拡大しています。そして「勝負の3週間」と称して、節度のある行動をとる事が求められています。3~5月頃の初期は何も分からずに、ただ「怖い、3密を避ける」と言う感じでしたが、最近ではいろいろな事が分かってきて「唾沫の飛沫感染が最大の感染ルート、多人数での飲食に注意！」と具体的に指摘されようになってきました。櫻守の会の最も楽しい秋のイベント“芋煮会”もリスクが大きいため中止にせざるを得なくなりました。寂しい限りですが止むを得ない措置であったと思っています。来年こそは、これまでの様に皆さんで談笑できる機会を得たいと思っています。(近藤茂 記)